

基本方針

人々が豊かな環境を育み
環境が健やかな人を育むまち・静岡

分野1:生活環境

住み良さを実感できる生活環境をつくります

【環境目標】

- ①安心安全な生活環境の確保と充実
- ②歴史・文化とふれあう機会の充実
- ③緑あふれる美しいまちの創出
- ④良質な水環境の保全

分野2:自然環境

豊かな自然環境を守り、次の世代へ繋いでいきます

【環境目標】

- ①南アルプスなどの自然環境・生態系の保全
- ②自然を利活用した人材の育成

分野3:地球環境

総合的に地球温暖化対策に取り組みます

【環境目標】

- ①省エネルギーの推進
- ②地域の特色を活かした再生可能エネルギーの普及促進
- ③災害に強く環境にやさしいエネルギーの分散化
- ④気候変動に適応した対策の推進

分野4:循環環境

環境に配慮した廃棄物政策を推進します

【環境目標】

- ①廃棄物のさらなる減量に向けた協働の推進
- ②安定的な廃棄物処理体制の確保

令和2年度 環境指標の進捗状況(新指標)

◎…達成(R4目標年度) ○…達成見込み
△…要調整 ×…達成困難 ……中止

分野	No.	指標	基準値(H29)	最終目標(R4)	令和2年度		備考 (増減要因、今後の方向性など)	実温 行暖 計化 画
					現状値	達成 状況		
生活環境	1	事業者の公害法令順守率	91.3%	92%	91.5%	○	【評価理由】 公害法令順守率はR1年度91.2%からR2年度91.5%に増加し、最終目標に向け順調に取組が進んでいることから、目標達成見込みとしている。	
	2	文化財保護事業に携わる市民ボランティア数	101人	150人	147人	○	【評価理由】 市民ボランティア数はR1年度133人からR2年度147人に増加し、最終目標に向け順調に取組が進んでいることから、目標達成見込みとしている。	
	3	市民一人当たりの都市公園面積	6.33㎡/人	8.0㎡/人	6.64㎡/人	×	【評価理由】 市民一人当たりの都市公園面積はR1年度6.58㎡からR2年度6.64㎡に増加しているが、公園用地の確保が困難な状況が続いており、令和4年度末までの目標達成に向け、更なる事業推進が必要である。	☑
	4	生活排水処理率	83.6%	86.9%	85.2%	○	【評価理由】 生活排水処理率はR1年度84.4%からR2年度85.2%に増加し、R2年度計画(85.4%)比でも最終目標に向け順調に取組が進んでいることから、目標達成見込みとしている。	
自然環境	5	南アルプス主要地域の高山植物種数の維持	13種	15種	13種	○	【評価理由】 調査区域全体では、指標種としている15種のうち13種が確認されたほか、合計33種の高山植物が確認されたため、防鹿柵設置による効果が確認できたとして達成見込みとしている。	
	6	河川環境アドプトプログラムの登録団体の延べ活動回数	86回	100回	57回	×	【評価理由】 例年5月末に実施していた、安倍川・薬科川のスポーツ広場等を対象とした河川・海岸美化運動が、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を受け、中止となったため。	
地球環境	7	省エネルギーに取り組む市民の割合	57.8% (H30)	62.4%	47.2% (参考値)	△	【参考値について】 H30年度(基準年度)の市民意識調査と比較し、令和2年度は、イベント来場者を対象にアンケート調査を実施したため、年代、世帯構成等など、対象に大きな差異があることから、参考値としている。	☑
	8	再生可能エネルギーの導入割合(H25年度電気使用量比)	23.2%	24.4%	24.0%	○	【評価理由】 再生可能エネルギー導入割合はR1年度23.8%からR2年度24.04%に増加し、R2年度計画(24.0%)どおり導入が進んでいることから、目標達成見込みとしている。	☑
	9	分散型エネルギーを確保した住宅の割合	18.3% (H30)	20.0%	50.8% (参考値)	○	【参考値について】 H30年度(基準年度)の市民意識調査と比較し、令和元年度は、イベント来場者を対象にアンケート調査を実施したため、年代、世帯構成等など、対象に大きな差異があることから、参考値としている。	☑
	10	気候変動に対応するための体制整備	・庁内勉強会 ・施策整理	整備	適応策啓発ハンドブックの作成・配布	○	【評価理由】 概ね計画通り進んでおり、目標達成見込みとしている。なお、令和3年度は熱中症警戒アラートの庁内及び市民への広報体制の整備を行う予定。	☑
循環環境	11	一人1日当たりのごみ総排出量	928g /人日	856g /人日	900g /人日	△	【今後の方向性】 昨年度実績から減少がみられるが、経年目標には到達していないため、さらなるごみの減量化を推進していく。	☑
	12	最終処分場への埋め立て量	9,126t /年	7,710t /年	8,211t /年	△	【今後の方向性】 昨年度実績から減少がみられるが、経年目標には到達していないため、さらなるごみの減量化を推進していく。	